

## 吹田市職員体制再構築計画(案)の概要

### <計画の目的>

地方分権の進展のもと、持続可能なまちづくりを支える行政構造全体の「確かな改革」を進め、吹田市第3次総合計画における将来像「人が輝き、感動あふれる美しい都市(まち) すいた」を実現するため、健全な財政基盤を確立します。

経常収支比率を押し上げている人件費を抑制し、財政構造の改革を進めます。

本市の財政状況は、赤字特例債の発行を毎年余儀なくされるなど、慢性的な赤字構造となっています。  
また、経常収支比率は平成19年度決算で96.8%となり、財政構造の硬直化が一段と進んでいます。経常収支比率を押し上げる大きな要因となっている総人件費を抑制し、柔軟な財政構造を確立することが緊急の課題です。

限られた人的資源である職員を効果的、重点的に配置し、簡素で効率的な職員体制を確立します。

分権時代にふさわしい人材育成を進めるためには、職員のキャリアアップ、意識改革を進めていくことが重要です。  
また、団塊の世代の退職により増加する再任用職員の活用により、行政経験と専門性を継承し、さらに市政運営における職員の役割を見直し、職員の効果的な配置と多様な雇用形態の職員を活用した新たな職員体制へ再構築する必要があります。

### <計画の期間と対象及び数値目標>

- 1 計画期間 平成20年度から平成24年度
- 2 対象 全会計職員
- 3 数値目標 平成20年4月1日現在の職員数と平成25年4月1日現在の職員数の差で398人を削減

### <職員体制再構築の基本的視点>

- 1 効果的な執行体制の確立
- 2 市民と行政の役割分担  
「市民と行政の役割分担に関する指針」に基づく「事業仕分け」により、市民団体や民間活力を最大限に活用する職員体制へ
- 3 説明責任と情報公開の原則  
職員体制の見直し状況等について、その内容、効果等を説明し、市民の評価のもと進行管理を行なう
- 4 ゼロベースからの見直し  
毎年、業務執行方法及び体制を見直す

### <計画推進のための具体的方策>

- 1 市民との情報共有  
計画の内容と取組状況は、毎年度、積極的に市民に公表する。
- 2 再任用職員の活用  
(1) 職員としての技術、知識、経験を活用できる配置を行なう。  
(2) 再び正職員の配置を行わない「再任用事務」を指定する。
- 3 非常勤、臨時雇用員の一元的な管理  
任用や管理における統一性のあるルールを定める。
- 4 任期付職員制度の導入  
任期付職員制度を活用する場合は、条例を制定し運用を図る。
- 5 事業仕分け評価及び行政評価の職員体制への反映  
事務事業の範囲や実施方法について、事業仕分け評価システムや行政評価システムによる見直しを進め、その結果を職員体制に反映。
- 6 一元的職員体制評価システムの構築と推進体制  
(1) 各部局は、各年度の職員体制再構築計画を実行する。  
(2) 職員体制評価委員会による一元的評価・判断のもと、毎年、年度別推進計画を決定し、進捗状況を把握するとともに、計画の実行性を確保する。